

登録コード	TSX12500	開講年度	2026					
授業科目	空間構造設計学					担当教員	羽藤 広輔	
英文授業名	Design Theory of Historical Space and Structure					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限		対象学生	建築学分野1年生
講義室	工W5-21教室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					建築意匠の専門知識に基づいて、建築家や建築作品などに対する自身の考察を説明できるようになる。		
(2)授業の概要	・ 伝統論等の観点に基づく、建築空間を構成する意匠的要素に関する講義 ・ 講義内容および各履修者の関心に基づく課題の出題							
(3)授業計画	第1回 ガイダンス、課題説明 ＜建築の意匠＞ 第2回 近代の建築 第3回 建築の原型 第4回 現代の建築1（歴史主義、合理主義、構造主義） 第5回 現代の建築2（場所、構造、脱構築） 第6回 近現代の都市・ランドスケープ 第7回 近現代の家具 第8回 持続可能性と建築 ＜日本建築の意匠と伝統論＞ 第9回 戦前の日本建築 第10回 戦後の日本建築1（1950年代の伝統論争） 第11回 戦後の日本建築2（1960年代以降） 第12回 地域と建築（信州の現代建築） 第13回 現代の日本建築 第14回 まとめ1 第15回 まとめ2							
(4)成績評価の方法	課題における構想・作業量・完成度などを総合的に評価する。							
(5)成績評価の基準	課題において(i) 事例選択が適切であり, (ii) その事例の背景を説明できており, (iii) その事例にどのような意匠的特徴があるのかを指摘できており, (iv) その事例に対する既往の論考を把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。							
(6)事前事後学習の内容	各回の予習および課題							
(7)履修上の注意	学部開講授業「美術・デザイン史」または同等の内容の学習を終えていることが望ましい。							
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける。メールの場合はkhato@shinshu-u.ac.jp							
(9)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	平尾和洋＋末包伸吾 編著：テキスト建築意匠, 学芸出版社, 2006（3,200円＋税） 平尾和洋＋青柳憲昌＋山本直彦 編著：日本の建築意匠, 学芸出版社, 2016（3,500円＋税）							